
関連施設

田上診療所

訪問看護ステーション野の花・訪問リハビリ

わらび苑

院内保育所

関連施設

田上診療所

医事課 大久保 沙織

「今仕事してないんだって？ 診療所で働かない？」

息子が熱を出し診療所の小児科を受診した際、受付でそう声をかけて頂き、入職して早1年が経とうとしています。

この1年、医療関係の経験が全くない私を温かく受け入れていただき、丁寧・親切に仕事を教えて下さるスタッフの皆さんに、とても感謝しています。

田上診療所は、院長の竹野先生を中心に、事務長、看護師長、看護師6名(育休中1名含)、受付4名、リハビリ(物療)4名の17名の職員が勤務しており、診療科は、内科・循環器科・皮膚科・小児科・整形外科があります。

入職前には、こんなにスタッフがいること、また、多くの地域の方々が診療所を頼りに通院されていることを、私は知りませんでした。

1番驚いたことは、大勢の患者様がいるのにも関わらず、ほとんどのスタッフが来院された患者様のお顔を見ただけで、名前や受診する診療科を把握しているということ

です。これは、患者様とスタッフの信頼関係ができていること、また、働きやすい職場環境で長年勤務されていることが大きいと思います。

昨年は、看護師長が看護業務功労賞を、また、永年勤務の表彰を2名が受けました。職場の仲間の前で、田上理事長から表彰状を受け取られる姿を目の当たりにし、働くことへの意欲が高まることでした。

11月には連休を利用して、田上診療所スタッフで研修旅行にも行きました。日頃の仕事や家庭から離れ、気心の知れた仲間との旅行。「人生、働くだけじゃない!楽しまないと!」と、初めて思えました。仕事への意欲向上とリフレッシュがあるからこそ、日頃の仕事も頑張れると実感しています。

まだまだ分からないことが多く、患者様やスタッフに迷惑をかけることが多い私ですが、診療所と同じように地域のお役に微力ながら関わらせていただきたいと思います。



関連施設

訪問看護ステーション 野の花

作業療法士 濱添 信人



管理者／平園和美

看護職員／鳥巢良子、北園ゆかり、荒木舞

作業療法士／濱添信人

理学療法士／坂口淑子、日高幸香、上妻直人

言語聴覚士／松尾あやの

【 理念 】

私たちは、思いやりの心と技術を研鑽する真摯な姿勢で、住み慣れたお家や地域で安心してすごせるように健康管理や日常生活の支援に努めます。

【 利用者数 】

訪問看護 57名

リハビリ 65名(H31.3.31現在)

訪問看護ステーション野の花では、平成28年から看護とリハビリテーションの訪問サービスを提供させて頂いています。利用者様が安心して自宅での生活を過ごせるように、日頃から看護師とリハビリテーションスタッフが密に連携し、利用者様の健康と生活を支援させて頂いています。また、サービス提供の質の向上を高めるために、事業所内でのカンファレンス、勉強会、法人内での研究発表などを積極的に取り組んでいます。

今年度は、さらなる利用者のニーズに応えるために、平成30年度3月より小児の訪問リハビリテーションを提供できる体制を構築し、現在(H30.3.31現在)2名のお子様が発行して頂いて、その後、事業所と契約を交わした後に利用ができるようになります。外来リハビリテーションとの併用利用も可能ですので、外来と在宅での両側面からの関わりができ、より充実したリハビリテーションによりサポートをさせて頂く事ができます。また、法人内ということで、外来リハビリスタッフと訪問リハビリスタッフがタイムリーな引き継ぎや情報共有ができる大きなメリットもあります。

これからも、子供から高齢者まで幅広い年代の方々や多種多様な病気、障害のある方へ対応できるように、島内の医療機関、介護事業所、施設、行政、他の訪問看護ステーションと連携を図り、安心した在宅生活を支援できるようにしていきます。

関連施設

介護老人保健施設 わらび苑

施設長 医師 池村 紘一郎

<わらび苑 理念>

『種子島の高齢者に安心を』

- ・わらび苑は全ての皆様の尊厳を守り安全で質の高い介護サービスを行います。
- ・わらび苑は利用者の自立を支援するため最善の介護サービスを行います。
- ・わらび苑は高齢化社会のニーズに応じ適切な介護サービスを行います。

「介護老人保健施設 わらび苑」は、「種子島の高齢者に安心を」という理念の下、利用してくださる島民の皆様には安心安全なサービスの提供をできるようにと運営しております。

スタッフ総数は約80名、看護部・介護部・リハビリテーション室・通所リハビリテーション部・栄養課・事務室と様々な職種が連携して、利用者様一人ひとりに合ったより良いサービス提供を行っています。

介護老人保健施設(以下老健)は、在宅復帰・在宅支援のための施設と国からも位置づけられております。リハビリテーションを提供し機能維持・回復の役割を担う施設として、種子屋久熊毛では唯一の施設です。

平成30年度介護報酬改定後、在宅復帰支援機能評価において、在宅強化型施設として要件を満たし算定しています。在宅強化型とは在宅復帰・在宅支援を目指す施設としては、上から2番目(1番目は超強化型)の



位置づけとなっています。もちろん目指すは超強化型なのですが、島内利用者様ニーズ、職員の人員確保、など様々な状況を考慮しながらバランスよく運営していくことを心がけています。

また、老健の役割として、在宅復帰・在宅支援の地域拠点となる役割もあります。今年度、わらび苑も地域に貢献できる活動を行っていく予定です。現時点ではまだ企画段階ですが介護予防サロン・認知症カフェなど、地域の皆様が集まれるきっかけになる場を提供する予定としています。

介護の世界も、年々様々に変化しておりますが、その変化に柔軟に対応していかなければなりません。本物しか残れないこの

時代において、わらび苑が地域の皆様にとって有益な施設となることを目標に運営していくことが本物として生き残っていけると信じております。これからも「介護老人保健施設 わらび苑」をよろしく願います。

○わらび苑の主な年間行事

1月	新春 書初め
2月	節分 豆まき
4月	寿司バイキング
8月	わらび苑 夏祭り
10月	ふれあいデー
12月	クリスマス会・餅つき
* 誕生日会（毎月）	
* 家族会（年2回 4・10月）	

*わらび苑の庭園も猿渡邦彦前施設長の計らいと、NPO法人コスモさんの手入れのおかげで大変綺麗になっております。苑の見学も兼ねて、お気軽にお越しください。



関連施設

院内保育所

主任 大木 鈴香

徳永純子、新原祐子、鮫島めぐみ、中村智美

0～3歳までの子どもさんを中心に24時間保育を行なっています。

1日の流れ

- 8:30～ 子どもたちの体調チェック
- 9:30～ 朝の会
- 10:00～ おやつ
- 10:20～ お散歩または製作活動
- 11:20～ 給食
- 12:30～ お昼寝
- 15:00～ おやつ
- 15:30～ 室内遊び
- 17:00～ お迎えを待つ

(その他、夜勤の流れがあります)

子どもたちは、お昼寝の時以外、常にパワフルに動き回っていて、一日があっという間です。天気の良い日は、なるべく外に出て、自然に触れられるようにしています。子

どもたちは、1年中ダンゴ虫を探したり、風で飛んでいる落ち葉を見て、「葉っぱが走ってる」と表現したり、とてもおもしろいです。雨の日は、室内でも、満足して過ごせるMのように、制作など日々考え準備しています。

また、ケガや事故のないように、そしてお母さんたちが、安心して仕事ができるよう心掛けています。

また、保育所では、当院に受診に来られた子どもさんの兄弟を、受診の間一時的に(平日午前中のみ)お預かりしています。お困りの際は、受付、または保育所にご相談ください。

